

初期の日本語指導に教科学習の視点を取り入れるための研修事例
～『みえこさんのにほんごシリーズ』『どこでもだれでも日本語指導DVD』の有効活用～

船見和秀（伊賀市外国人児童生徒日本語指導コーディネーター）

実戦の場の特徴

幼稚園・保育園から高等学校、教育委員会、国際交流協会、地域日本語教室などで外国につながる子どもに関わる様々な方への研修機会を設けることを目的に、三重県国際交流財団が主催となり実践研究会を行っている。

実践の目標

参加を通し、初期日本語指導及び、教科学習につながる日本語指導のスキル向上を目標としている。

具体的な実践の内容とその過程

平成23年度、「学校における初期日本語指導の実際、『みえこさんのにほんご』『新版みえこさんのにほんご れんしゅうちょう1』を使った模擬授業、『日本語指導の基礎DVD』の効果的な活用」というテーマで実践研究会を実施した。

<講座の具体的な内容>

- 【0】DVDを視聴してみよう『日本語指導の基礎』第5巻
「日本語指導の発想に基づく教科学習の模擬授業」
- 【1】日本語指導について
- 【2】『新版 みえこさんのにほんご』：教科学習との融合を考えてみよう。
- 【3】現学級で教科を学習しているとき、気をつけたいこと。
- 【4】上手く説明をするために～ティーチャートーク～
- 【5】DVDの視聴方法について説明

結果と考察

56人（幼1人、小8人、中5人、高4人、教育委員会関係者27人、国際交流協会等3人、日本語ボランティア8人）の参加があった。「教科学習に文型を意識して使うことなど意識していなかったもので、興味深かった。」「教科指導を意識した日本語指導のポイントがよく分かった。」「中学校の教科と日本語指導の講座がほしい。」などの反響があった。アンケート結果を参照し、音声指導の仕方、DLAの使い方等の研修を企画・実施してきている。